

純情産地発クラーラ

KLARA

12

vol.809
2016

特集

安心を見守るクミアイプロパン

*消費地だより *JAタウン いわて純情館
*報告! 出向く活動班 *純情むすめ活動記



全農いわて通信



特集

安心を見守る クミアイプロパン

資材部



季節のエッセー いわての野草

文・澤口 たまみ
絵・永澤 美貴子

「カキドウシ」 (シソ科)

虫にも色々あるけれど、人間の体の中において、
気分を左右しているのは「腹の虫」。
子どもの体の中において、夜泣きや虚弱など、
原因のはっきりしない不調を引き起こして
いるのが「疳の虫」だ。
どういわけか人間は、何だか得体の知れない
ものは、みんな虫のせいにしたがるようだ。
さて、子どもの疳の虫を退治するために、
古くから様々な民間薬が使われてきた。
へびトンボの幼虫、俗に「孫太郎虫」などは、
その代表的なものだが、このカキドウシも
薬草として使われ、「カントリグサ」(疳取草)
の別名を持つ。
じつを言うと、私も夜泣きの激しい赤ん坊だった
そうで、これらを飲まされたクチチである。
効果のほどはいかかなものか…。
和名のカキドウシは、花の後に茎が伸び、
垣根をくぐり抜けるところからついた。

参考資料：澤口たまみ著『岩手の野草百科』(岩手日報社発行)より

純情産地発 クララー **KLARA** vol.809 2016.12

タイトルのKlara (クララー) は、宮沢賢治の手帳に書かれている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

みんなの力で!



がんばろう!岩手
純情産地いわて

contents

季節のエッセー いわての野草	02	みんなの分教場	07
特集 安心を見守るクミアイプロパン	03	報告! 出向く活動班	08
消費地だより	06	純情人	09
JAタウン いわて純情館	06	純情むすめ活動記	09
		ニュースワイドアングル	10

私たちは、日常生活でガス・灯油・電気の主要エネルギーを暮らしに合わせて活用しています。
電気や都市ガスが、電線や導管で運ばれて供給されるのに対し、LPガスや灯油は軒下に設置したLPガス容器や灯油タンクから直接供給する独立分散型エネルギーであり、災害時の復旧が早く、安全なエネルギーです。

ここでは日常LPガスをお使いいただく上での安全と安心を保つ仕組みを紹介します。

(1) ガスメーター

LPガスの使用量を計測する本来の機能に加えて、内臓のマイコンで常にLPガスの使用状態を感知して自動的にガスを遮断する機能があります。



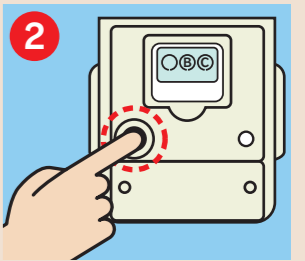
*主な特徴

- ・圧力監視による遮断
ガス機器の未使用時にご家庭のガス配管内のガス圧力が低下するとガス配管からの漏洩等と判断してガスを遮断します。
- ・地震器内臓による遮断
地震対策として地震器を内蔵していますので震度5以上の場合、ガスを遮断して二次災害を防ぎます。
- ・合計流量遮断
ご家庭のすべてのガス機器を同時に使用した場合のガスの合計流量を超えた場合、ガス漏れと判断してガスを遮断します。

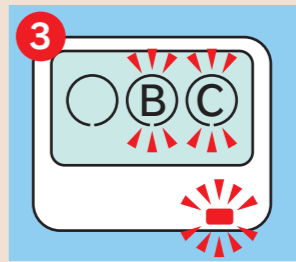
ガスメーター(マイコンメーター)の復帰方法



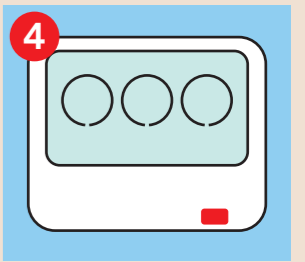
- 器具栓をすべて閉めてください。
- 使っていないガスの元栓が閉まっていることを確認してください。



- 左側の復帰ボタンを押してください。



- 液晶の文字とランプが点滅します。
- 1分間お待ちください。
※ランプが復帰ボタン部にあるものもあります。



- 液晶の文字とランプが消えます。
- 復帰完了です。
- ガスは使えます。

※復帰操作をしても復帰しない場合(再び「ガス止」表示が出る)は、復帰操作を繰り返さずLPガス販売店の点検を受けてください。

断してガスを遮断します。電気のアレコーと同様の役割を果たします。

増加流量遮断

ご家庭の最大ガス消費機器の使用量以上にガスの流量が気が増加した場合、ガス漏れと判断してガスを遮断します。

使用時間遮断

燃焼機器の使用時間が異常に長い場合、消し忘れと判断してガスを遮断します。

*遮断時の復帰方法

- ・室内の換気
ガス漏れ警報器がなった場合やガス臭い場合は換気を十分に行ってください。その際は火気やコンセントの差込、スイッチには触らないで下さい。

- ・閉栓
器具の消し忘れ元栓の誤解放やゴムホース外れ等がないことを確認してください。
- ・メーター本体の復帰ボタンを押してください。

(2) ヒューズガス栓

ガス栓とガス器具をつなぐゴム管が万一外れたり、接続していない口を誤って開栓した場合でも自動的にLPガスの放出を止める安全装置で、ご家庭のすべてのガス栓に装備しています。

(3) Sセンサー付コンロ

現在のすべての家庭用コン



ロには、鍋底の温度を感知して焦げ付きを防止するために、ガスを止めるセンサーと、吹きこぼれなどで火が消えた場合にガスを止める機能があります。
※ガス機器のご使用時には二酸化炭素中毒を防ぐために、定期的に換気をするよう心掛けましょう。

(4) あんしんキャッチ24

「あんしんキャッチ24」は、LPガスの消し忘れ、ガス栓の誤開放などが発生した場合に、マイコンを内蔵したガスメーターが感知し、内蔵の遮断弁でガスを遮断するとともに、お客様の電話回線や無線装置(ガスキャッチ)を通じてLPガス監視センターへ通報するシステムです。監視センターでは警報を受信後、お客様宅に電話をかけて安全確認を行い、状況に応じて緊急時対応者(JAの担当者や保安受託者)に活動を依頼します。

現在では、圧力センサーを内蔵したLPガスメーターで、双方向システムによって監視センターからも消費者宅のLPガスメーターの開閉が可能となっています。

*LPガス消費者の安全確保に対する効果

- ① ガス消費者のうっかりミスによるガスの漏洩やガス配管からの漏洩事故を防止します。
- ② ガス燃焼機器の消し忘れによる事故を防止します。
- ③ メーターによりガスを遮断した際の復帰補助をします。

おわりに

JAグループでは、ご家族で安心してLPガスをお使いいただけるように、設備や機器による安全化に加えて、メーターと24時間体制の監視センターを電話回線をつなぎ、組合員、消費者の安全安心快適な暮らしを支えてまいります。

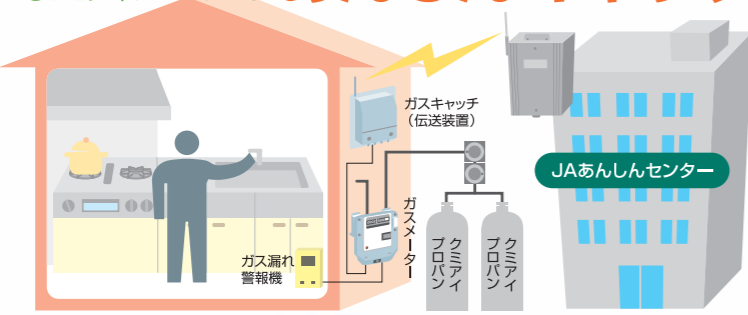
5つの安心でしっかりサポート!

1 消し忘れ!
こんなときはすぐ連絡を!センターがガスを止めます。

2 ガス漏れキャッチ!
センターから安全確認と処置方法のご案内をします。

3 長時間つけっぱなし!
センターから安全確認と処置方法のご案内をします。

JAグループのあんしんキャッチ“24”のしくみ



携帯電話のFOMA網や電話回線網でお客様宅のガスメーターと「JAあんしんセンター」をつなぎますので、お客様宅で何かガスの異常が起こった場合は自動的に「JAあんしんセンター」に通報がいきます。すばやく安全確認と適切な処置方法をご案内します。

4 自動検針!
メーターは自動的に検針!正確で安心です。

5 地球にやさしい!
LPガスは地球にやさしいCO²排出の少ないクリーンエネルギーです。

※お客様宅の環境によっては全てのサービスを提供できないことがあります。ご了承ください。

消費地だより

「銀河のしずく」関西での販促活動・販売状況について

1. 「銀河のしずく」 県外デビューイベント

10月7日に岩手県待望の新品種「銀河のしずく」の県外デビューイベントが東京・銀座三越、大阪高島屋で実施されました。大阪高島屋では、藤尾東洋JA岩手県五連会長、紺野由夫岩手県農林水産部長が挨拶し、10年の歳月を費やして育成した新品種であること、食味の優れている点などを消費者に紹介しました。平日の実施であったにも関わらず多くの人で賑わい、先着100名に準備した精米サンプルは瞬く間に終了したほか、試食の提供が追い付かないくらい好評でした。このイベントの様子は大阪府内のテレビで放送され、「銀河のしずく」PRに効果があったと考えます。



大阪高島屋でのデビューイベントの様子

2. ABCクッキングスタジオ 「銀河のしずく」ワークショップ

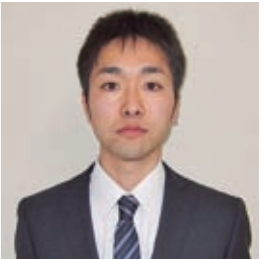
料理教室を運営しているABCクッキングスタジオのラクエ四条烏丸スタジオ(京都府)において、11月5日に「銀河のしずく」ワークショップが開催されました。岩手県が米の生産に適した環境が揃っていることや、この米の特長を約30名の参加者に紹介しました。また、「銀河のしずく」マッチングのおかずの調理レッスン、試食が行われ、食卓に並べるイメージを持って頂く機会となりました。参加者からどこで買えるのか、価格はいくらかなどの質問もあり、「銀河のしずく」に対する興味を深めて頂くことができました。



ラクエ四条烏丸スタジオでのワークショップの様子

3. 銀河のしずくの 関西での販売状況について

現在、大阪府・兵庫県では阪急百貨店・高島屋といった百貨店、イオン・イスマヤ・阪急オアシス・近商ストアなどの量販店、各生協、地場の米穀小売店で2kg精米袋が販売されています。



今月のリポーター 消費地販売課 藤原 靖史

他県の新品種の動向として、28年産までに販売されている青森「青天の霹靂」、新潟「新之助」に加えて、30年産では「宮城210号」、「山形112号」などがデビューを控えており、更なる産地間競争の激化が想定されます。この産地間競争を勝ち抜くカギは、「銀河のしずく」のファン＝固定客の獲得です。取引先・消費者の、この米の食味に対する代表的な声として、「しっかりとした食感」、「あっさりとした甘味」、「冷めても美味し」などがあり、昨今の銘柄構成の中では特徴的であるという意見があります。消費者の食味嗜好は多様化しているため、28年産では上記のようなイベントやマネキン試食販売の際に、「銀河のしずく」の特長をしっかりと伝えていき、固定客を獲得することで、安定販売に繋がります。

みんなの分教場

水稻育苗コストの低減について(その2)



営農対策部 営農技術課 技術主管 高橋 伸夫

水稻の苗箱削減対策

稲作の規模拡大とともに、移植栽培主体の経営では育苗ハウスの不足、苗運搬や苗補給作業量の増加、高齢補助者が重い苗箱を数多く運ぶため重労働になるなど様々な課題が見えてきました。前回(クラーラ8月号)では、直播、疎植栽培、乳苗移植栽培による苗箱削減についての概要を掲載しましたが、今回は最近話題となっている高密度播種について解説し、JA全農いわての取組み事例を紹介いたします。

高密度播種による苗箱の削減

昨年あたりから苗箱当たりの播種量を増やして苗箱数を削減する高密度播種の事例が報告されています。「密苗」「密播」などの呼称で、1箱当たりの播種量を200g〜300gまで増やして、10㎡当たりの苗箱数を10箱前後、疎植栽培との組合せでは6箱/10㎡まで減らした県外事例も報告されています。

呼称はともかく、播種量を増やすことで苗箱を減らす考え方は密苗、密播、乳苗とも変わりなく、播種量を増やすことによつてこれまでの薄まきで30日間の育苗日数では苗が徒長するため、育苗日数を1/2まで短縮して田植えをすることが基本となっています。

育苗日数が短いと、出芽を揃えることが重要となり、苗の葉齢も1.5〜2葉までに10cm程度の苗丈を確保しています。育苗期間が延びると徒長するので田植作業に合わせた播種期の計画的な設定も重要となります。

10㎡あたりの苗箱数

苗箱数は分けつの出やすい品種(地域)出にくい品種(地域)、栽植密度、植付け本数、播種機の能力によつて変わります。

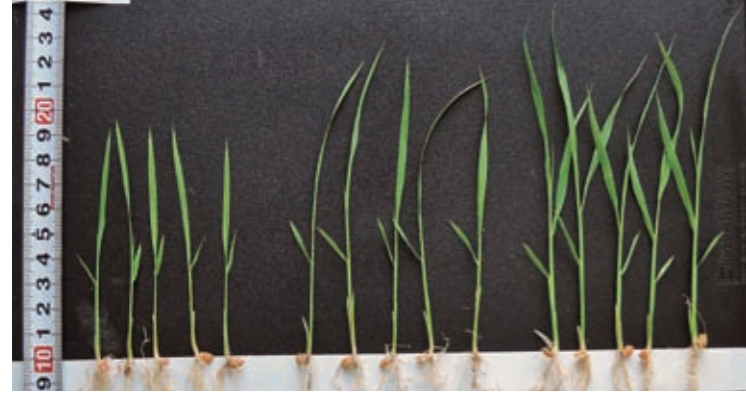
穂数型の品種と穂重型の品種では同じ収量でも穂数が異なります。また、冷水掛かりの水田では穂数が少なく低収量の圃場もあり、現状の移植栽培と比較しながら品種、圃場条件によつて1株植付け本数と栽植密度を決定する

田植機の設定

植付本数の設定は、従来機では横送り回数を最大の26回に切替えて、縦送りの苗かきとり高さを標準より少なく設定します。実際には田植機で苗をかきとって植付け本数の調整をする必要があります。調整が不十分では苗箱が足りなくなることもあり注意が必要です。現在、機械メーカーでは300g播種機や専用爪等のほか、横送り回数30回まで設定出来る田植機も販売されてきています。

必要があります。具体例として、坪60株の4本植では10㎡当たり約7.3万本の苗が必要となり、種子初粒の千粒重を28gと仮定すると乾粉で約2.6kgの種子が必要で、播種機の能力を箱当たり乾粉220gとすると、大まかには約12箱/10㎡の計算となります。品種によっては種子の千粒重が大きいものもあり注意が必要ですが目安として考えて下さい。

図1 移植時の苗



(左から)①床土無肥料:200g播種、②床土軽量倍土:200播種、③慣行中苗:100g播種

表1 JA全農いわて乳苗実証結果①(H28)

培土の種類(床土+覆土)	播種日	播種量乾粉(g/箱)	田植	播種後日数(日)	一株植付本数(本)	栽植密度(株/坪)	10a苗箱数
①乳苗(無肥料培土+中苗培土)	4月27日	200	5月15日	18	4.2	60	12
②乳苗(軽量培土+中苗培土)	4月27日	200	5月15日	18	4.0	45	9
③慣行中苗	4月16日	100	5月15日	29	4.5	50	20

※1 品種:ヒメノモチ(偏穂重型) ※2 実施場所:紫波町
 ※3 乳苗①、②は育苗器加温時間30℃・67時間、ハウス平置き、③慣行中苗は48時間、ハウスプール育苗
 ※4 育苗管理は緑化期にラブリシート被覆、緑化後は中苗と同様の管理

表2 JA全農いわて乳苗実証結果②(H28)

培土の種類(床土+覆土)	苗調査(田植時)		出穂期	坪刈調査		屑米重歩合(%)	
	草丈(cm)	葉数(葉)		穂数(本) 株当り	収量(kg/10a) m ² 当り		
①乳苗(無肥料培土+中苗培土)	9.3	2.0	8月6日	21.3	389	665	4.9
②乳苗(軽量培土+中苗培土)	13.1	2.1	8月6日	24.0	337	618	4.0
③慣行中苗	13.6	3.3	8月3日	23.9	392	663	3.1

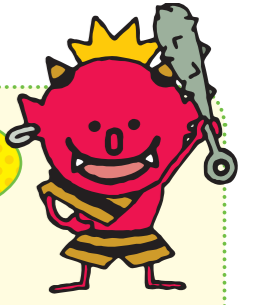
※1 ①は床土が無肥料培土のため、葉色が薄く草丈が短い。
 ※2 施肥量は基肥N成分6kg(側条施肥)+追肥1.5kg/10a
 ※3 坪刈収量は1.9mm篩

JA全農いわての事例

今年初めてヒメノモチ乳苗の現地実証を行い200g播種(図1)では植え付け本数4本程度とした場合、坪45株では10㎡当たり9箱、60株植えでは12箱と想定どおりの苗箱数となりました(表1)。ヒメノモチは偏穂重型品種のため、初期の分けつ確保が重要となりますが、乳苗では株当たりの茎数、穂数は少ないものの栽植密度を増やすことで面積当たりの穂数が確保でき、60株植えでは慣行中苗と同等の収量が得られました(表2)。この場合でも苗箱数は12箱/10㎡となりました。

課題

苗箱削減への関心が高まっていますが、品種、地域に合った栽植密度の検討や、箱施用剤の施用量と防除効果など、まだ解明されていない課題もあり特に病害虫防除については注意が必要です。



JAタウン いわて純情館 注目の一品!



- 米づくりから自社で手掛ける、お米100%・グルテンフリーの米粉パスタ
- 和ばすたドレッシングセット〜冬〜 ¥4,000
- 季節野菜の平麺ばすた〜冬〜 A ¥3,500
- 季節野菜の平麺ばすた〜冬〜 B ¥3,500

岩手県陸前高田市の「ひころいちファーム」より、自家産の米と野菜で作った米粉パスタをお届け。農薬などを極力減らし、自然に近い状態を保つことで、野菜の持つチカラを引き出します。

- ◆米粉パスタ
自家産の野菜を練りこんだ彩り豊かなショートパスタに仕上げました。
※プレーン、かぼちゃ、にんじん、ほうれん草の4種セットです。
- ◆和ばすたドレッシング
ふくよかな醤油の香りと玉ねぎの甘みが米粉パスタとよく合います。
たっぷりの野菜と一緒に召し上がってください。

JAタウン「いわて純情館」では純情ブランドを全国の食卓にお届けしています。 [いわて純情館](#)



出向く
活動班



今回の報告者
担い手サポートセンター
出向く活動班
菊池 規

JAのおおふなとの担い手支援活動について

今回は、JAのおおふななどの担い手支援活動についてご紹介させていただきます。



農業法人への訪問活動

担い手担当部署の設置

今年度、営農経済部に営農企画課を設置し、地域担い手サポートセンターと連携を強化し、担い手対応に取り組んでおります。

出向く担い手リストの作成

JAの出向く担い手を明確にするため、営農・金融部門共通の担い手リストを作成し、訪問活動を実施しております(個人109、法人17、計126)。



JA・担い手サポートセンター連携会議

JAの部門
間連携

四半期ごとにTAC6名と担い手金融リーダー8名の営農・金融部門合同会議を

6次産業化の取組み

担い手の手取りアップ並びに地域ブランドの育成を図るため、6次産業化商品を開発し、商談会及び各種イベントに参加しております。

地域ブランドの育成

陸前高田市の夢をのせたブランド米「たかたのゆめ」の品質向上や販売拡大に向け陸前高田市と連携を強化し、地域ブランドの育成に取り組んでおります。今年度は、51の生産農家、栽培面積55畝で、約200トンを収穫しました。

以上、JAのおおふななどの担い手支援活動の一部を紹介させて頂きましたが、JAいわてグループ農業担い手サポートセンターの取り組みが、JAのおおふななどの担い手支援を通じて、今後とも農家組合員の所得増大・農業生産の拡大につながるようサポートして参ります。



6次産業化商品の販売イベント



たかたのゆめ稲刈り式



たかたのゆめ田植え式



純情むすめ
活動記

岩手の希望をのせてー銀河のしずくに込める想いー



2016いわて純情むすめ
野崎 玲奈

希望郷いわて国体希望郷いわて大会に参加して、たくさんの方々と触れ合うことができました。岩手での開催は46年ぶり2回目と知り、貴重な大会に携わることができて、とても良い経験となりました。

この大会では、10月が旬のりんご「トキ」と「シヨナゴールド」、種無しで皮まで食べられるぶどう「シャインマスカット」、岩手期待の新ブランド品種米「銀河のしずく」を使用したおにぎりの販売や、量り売り等を行いました。お客様の中には、何度も買いに来てくださいたり、「お土産に」と大量に買ってくださいたり、その場で食べてくださった方もいて多くの笑顔を見ることができて嬉しかったです。お米100%で作られた「お米のミルク」は皆さん興味津々に試飲してくださりました。砂糖を一切使用せず、体にも良いということで、これからもっとPRし



ていきたいと思っております。

また、全国から訪れた、たくさんの方々の選手や応援の方が、私たちの出展ブースに立ち寄ってください、ゆっくりと会話をすることができました。その中でお客様から、「寒いけどすごく良いところだね」、「また来た方がいい」などのお言葉をいただき、もっと勉強して本県産農畜産物をPRしていくとともに、生産者と消費者をつなぐ立場として生産者の思いや、消費者の感想を交換する役目としてのお手伝いもしていきたいと思っております。



JA全農いわての 純情人

じゅん しよっ びと

資材部
エネルギー課
いままつ こうき
今松 光貴さん

趣味・特技
映画鑑賞。体を動かすことが趣味のアウトドアな性格です。

現在の担当業務
ガス器具の受注・発注や伝票処理、担当するエリアのガス器具全般の同行推進など

これからどんな職員になってみたいか
周りに流されることなく自分が思っている意見などを堂々と伝え、若さとフレッシュさで岩手の農業を支えていきたい。

今年の役職連野球大会で全国制覇できるようにトレーニングで体を鍛え、仕事で精神面を鍛えていきます!!!

いわてみちのくフェア 売上を岩泉町へ

11月6日(日)

ヤオマサで県産物をPR

神奈川県小田原市を中心に12店舗を展開するヤオマサ(株)にて、11月2日～6日の5日間、「いわてみちのくフェア」と題し、本県産農畜産物や、その加工品の特売を実施しました。最終日の6日、クイーンズマート店では、ヤオマサ(株)やJA全農いわてなど、流通・販売関係者が来場先着200名様へりんどうなどの本県産物のプレゼントや抽選会を通じ、純情産地いわてをPRしました。



岩泉町役場にて小原副本部長から伊達町長へ当日は目録を手渡しました

また、ヤオマサ(株) 田嶋政嗣 代表取締役社長からのお申し出により、このフェア期間の売上げの一部(100,000円)と、ヤオマサ店舗来店者からの募金(72,753円)に、JA全農いわてが希望郷いわて国産産物販売売上げの一部(36,070円)を併せた義援金を、後日、本会 小原俊英 副本部長から台風10号被害を受けた岩泉町へ贈呈しました。受け取った伊達勝身町長は「ありがとうございます」との感謝の言葉がありました。



開店から多くの方でにぎわいました

10月29日～11月29日 “紫あ波せ お29給食月間”

11月10日(木)

養豚専門部会、日詰小学校を訪問

10月29日～11月29日は“紫あ波せ お29(ニク)給食月間”として、岩手県や紫波町で生産されたお肉が給食に使用されました。“良い(いい)豚(とん)の日”とかけ、期間中の11月10日、生徒の皆さんに、安全安心で美味しい地元食材をもっと知ってもらおうと、JAいわて中央 養豚専門部会や紫波町給食センターおよび本会畜産統括課が紫波町立日詰小学校を訪問し、豚についてのレクチャーをした後、生徒たちと一緒に給食をいただきました。

この日の献立は、麦ごはん、牛乳、いものこ汁、信田煮、しわ豚と大根のみそ煮、りんご。岩手県養豚振興会やJAいわて中央などの協力により、紫波町内の小中学校14校で同じメニューが用意されました。いものこ汁とみそ煮に養豚専門部会が生産した豚肉2頭分が使用され、給食を食べた生徒は「柔らかくて美味しい」、「毎日食べたい」など笑顔を見せました。



生徒の質問に答えながら食べる養豚専門部会 阿部秀夫会長



寒さが一段と増してきた12月。インフルエンザ対策はしていますか?りんごには“りんごポリフェノール”という成分が含まれています。この成分は免疫活性化作用を持っており、ウイルスと戦ってくれるそうです。りんごといえば、今月は「冬恋」が発売開始されました。ぜひ、この機会に美味しくプレミアムな「冬恋」を食べてみてはいかがでしょうか。

(小野)

いわて純情りんご杯

第33回 岩手県小学生バレーボール大会

第4回 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会岩手県予選

開催日

平成28年12月3日(土)、4日(日)

場所

奥州市総合体育館 他

[大会ダイジェスト版番組放送] 平成28年12月25日(日) 14:00～14:30



最新農業機械を体感

11月17日(木)・18日(金)

JA&クボタ アグリピックin岩手2016



実際に試乗し、性能を確かめる組合員

農機事業部はクボタアグリサービス株式会社と共同で「アグリピックin岩手2016 未来へつなごう!次世代への挑戦!」と題し、岩手産業文化センターアピオにて農業機械フェアを開催しました。今回のフェアは、農家組合員へ新技術提案や試乗実演に力を入れた内容となっており、今話題のM7トラクタの体感走行や直進キープ機能が備えつけられたGPS搭載田植機など、最新農業機械を試乗できるコーナーを用意しました。これには約300人の組合員が試乗し、それぞれの性能を確かめました。また、試乗した方にはもちろん、シャベルやキャップ帽など4種の記念品を用意し、とても喜ばれました

また、「密播苗移植の提案」、「農業革新 ロボットイノベーション戦略」、「岩手における儲かる野菜作り」と題したパワーアップ講演会では、100席近い用意席数が満席になるなど、大きなにぎわいを見せました。

年に1度の大感謝祭

11月19日(土)・20日(日)

なるほどガスだね!!感謝祭2016

(株)JAグリーンサービス(以下GSとする)花巻はJAいわて花巻本店営業拠点センターにて、「なるほどガスだね!!大感謝祭2016」と題し、ガスコンロなどの展示販売会を実施しました。本会や(株)パロマ(株)、ノーリツなどクミアイガス器具メーカーを中心に計9社が協賛し、今年で10回目の開催。GS花巻GS事業本部ガス課 高橋孝英課長は「消費者に長く使ってもらえるよう、ひとつひとつ丁寧に説明をしながら、快適な生活を支援していきましょう」と開会式で挨拶しました。2日間で263組の方が来場し、各メーカーの担当者がそれぞれのガス器具の特徴を説明するとともに、感謝祭限定価格での販売を行いました。

また、来場記念品として、卵1パックとりんごジュースを贈呈。ランチタイムには豚汁と味付ご飯が振る舞われるなど、消費者へ日頃の感謝を伝えました。



消費者のニーズに合う器具を紹介しました

県オリジナル新品種の販売確保に向けて

11月8日(火)

第3回みちのく純情会

米穀部は、ホテルメトロポリタン盛岡NEWWINGにて、第3回みちのく純情会を開催しました。これには、県産米を取り扱う米卸売業者や県、県内JAの代表者など約40名が参加。平成28年産米の集荷販売等についての情勢報告がされたほか、県オリジナル品種米「銀河のしずく」、「岩手118号」のブランド化戦略について協議しました。

全国でブランド米競争が激化しているなか、米卸売業者からは「安価で大量に収穫できる品種も作付してほしい」、「高価な米に力を入れて取り扱うリスクは非常に大きい」など、様々な意見が出されました。



米卸売業者から様々な意見や提案が出されました

これを踏まえ、本会農山県本部長は「我々は農家の所得を上げることを最優先に考えて高い米を生産していますが、適地適作という言葉からすれば、安くて多く収穫できる米をあえて生産することも視野に入れ、今後協議していきます」と話しました。

南部ピュアポークのファン拡大へ

11月8日(火)

第25回「南部ピュアポーク」料理講習会

(株)よこまち、JA新いわて、(株)岩手畜産流通センター、本会は青森県八戸市にある林料理学校にて八戸市近郊に住む、よこまちストア顧客約30名を対象に岩手県産ブランド豚「南部ピュアポーク」を使用した料理講習会を開催しました。

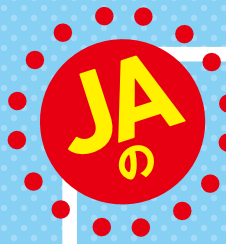
講習会に先立ち、南部ピュアポークを取り扱う(株)よこまち 横町浩明 専務取締役は「この料理講習会は、おかげさまで販売発足以降25周年を迎えることができました。南部ピュアポークをこれからも末永くご愛顧の程よろしくお願いたします」と、販売発足時から現在に至るまでの歴史や苦労などを交えて挨拶した後、本会より南部ピュアポークの紹介や豚の一生について説明しました。

料理講習会実習では、講師に料理研究家の下田真紀子氏を招き、「豚バラのたたき だんご鍋」、「一口ポーク 生姜焼き」、「さくさくつくね ナムル添え」と題し、南部ピュアポークを使用した3品の作り方を紹介。参加者はポイントやコツをメモし、グループごとに調理。最後は、自分たちが作ったものを全員で試食し、「美味しい」と笑顔で浮かべていました。

今後も、「安心安全で美味しい」を軸とし、生産者と消費者が笑顔で楽しめるような取り組みを続けていきます。



ひとつひとつレシピを確認して調理しました



太陽光発電で始めるエコライフ!



暮らしのパートナーJAがお届けする、太陽のクリーンなエネルギーを暮らしに取り入れた「太陽光発電」。

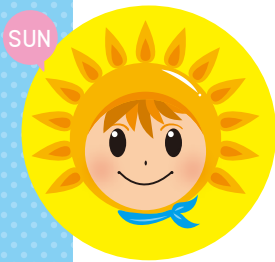
電気代を減らすだけでなく、使わずに余った電力は電力会社に売電できて家計にもやさしい。

さらに天候などに左右されないガスと組み合わせれば、売電量はより多くなりおトクです。

お客様に合わせたご提案から

JAならではの安心のシステム保証まで、太陽光発電とガスの快適な暮らしをサポート。

さあ、あなたもおトクにエコ生活を始めませんか。



今なら!!

平成28年4月～平成29年3月末の 期間中にご成約の方は

1kWあたり
1万円で
最大

10万円値引き!!

¥

いったい、いくらおトクになるの?
光熱費シミュレーション
無料! 実施中!

さらに!!

キャンペーン期間中お見積依頼の方に
オリジナルQUOカード
500円分プレゼント!

*数に限りがありますのでなくなり次第終了となります。予めご了承ください。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。